

◇ 医師からのコメント抜粋 ◇ (一部割愛・編集しています)

- ・「接待は良いとして、本来の情報提供や論文提供が十分にできていない MR が大多数である中、接待のみを制限しているのが問題。知識不足・勉強不足で医師の質問や希望に十分に対応できず、論文提供もしない現状をどう改善するかです。本来の正しい MR 業務を再考するべし。」(病院(国公立),50代,泌尿器科)
- ・「医師のなかで接待を喜んでいる人は少数の古い人たちではないかと思えます。価値観は変わって、若い人はむしろ接待が面倒と考えているかもしれません。そのことを考えると接待は無駄だと思います。広告などに費用を回すほうが効果的ではないでしょうか。皆、ネットで情報を得ていますし…。接待が減ると MR さんは、本来の仕事に集中してもらえるのでなお良いと思えます。」(病院(国公立),40代,麻酔科)
- ・「過疎化が進む田舎で仕事をしており、接待の機会もなく過ぎておりましたので今後も接待は必要なしです。MR は若く経験が乏しい方が多いので、話がつまらなくポイントのない説明が多く、あまり期待しておりません。」(病院(国公立以外),60代以上,内科)
- ・「MRには、しっかり勉強して対等の論議ができる能力を期待したいが、実際には難しいと思っている。」(病院(国公立以外),40代,循環器科)
- ・「ゆっくり話す機会はなくなります。情報はネットで得られるようになったので、MR とのコミュニケーションは切れてゆきます。」(診療所,60代以上,内科)
- ・「接待ではなく、きちんとしたバイアスのない医療情報の提供を期待する。」(病院(国公立以外),50代,腎臓内科)
- ・「社会常識を含め、医薬部門以外の広い知識のない MR は不必要であるし、面会にこられても時間の無駄。もっと淘汰されるべきである。全国講演会などでの情報提供を積極的にやる企業には好感もてる。」(診療所,40代,腎臓内科)
- ・「薬剤等の情報提供ということ言えば、情報にアクセスする手段がこれだけ沢山ある時代にはMRはあまり必要ないように思います。ましてや接待など、本来必要ないと思えますが。」(病院(国公立),50代,精神・神経科)
- ・「おもいきって、MRをなくしたらどうか?その分の人件費を医療に還元しては?」(病院(国公立以外),30代,神経内科)
- ・「接待が無くなれば MR との面談機会が極端に減ることになると思う。」(診療所,50代,リハビリテーション科)
- ・「薬や画像などの医学的な知識を与えてくれれば、立ち話や食事なしの勉強会で十分」(病院(国公立),30代,神経内科)
- ・「公的病院の医師に限らず、接待は受けてはいけないのが原則でしょう。」(病院(国公立),60代以上,代謝・内分泌科)
- ・「仕事以外での人間関係は重要と考えます。同じくらの薬なら、親しい MR の会社のものを使っていました。一方で、良い悪いで薬を使えば生き残れない会社も出てくると思います。」(病院(国公立以外),40代,内科)
- ・「もともと国立病院機構勤務なので接待がなかったのが 4 月の見直しには無関係です。でもここ 5~6 年で情報提供能力の高い MR さんが減ったのは事実です。もうインターネットでの情報提供で十分かもしれません。製薬企業は MR 削減に向かうでしょうね。」(病院(国公立),40代,内科)
- ・「公立大学病院のため以前からいわゆる接待は全くなかったので何ら変わりはない。むしろ私立病院医師へのそのような出費を減らすことで学問的支援、研究支援の拡大を期待したい。」(病院(国公立),50代,外科)
- ・「公務員でなければ、接待は大目に見ても良いのではないかと思う。長年の慣習でもあり、さびしく思う。」(診療所,60代以上,内科)
- ・「会う機会があまりないせいか、いきなり自社製品のアピール。そんなものはネットで収集できる。毎日の診療で疲れているときには世間話でもしてくれた方がよっぽどいい。そのメーカーの薬を使うか使わないかは人間関係ができてからの事。」(診療所,50代,腎臓内科)
- ・「連日、朝から夜までの診療では、ゆっくり MR さんとの面談は困難です。人と人との関係は、短時間での面談では構築できません。今後、MR さんとの関係はかなり希薄なものになりそうです。」(診療所,50代,脳神経外科)
- ・「プロフェッショナリズムとしては良いと思えます。接待費が無くなれば薬価は下がらないでしょうか。」(病院(国公立),50代,内科)
- ・「時代の流れと受け止めて素直に従うしかないと思えます。」(病院(国公立),50代,内科)
- ・「元来食事の接待というのは大嫌いですが、好きでもない人に「先生～」といわれてもちっとも楽しくありません。MR さんは薬のプロです。プロらしく、正しい情報を提供されることに期待し、また講演会などのサポートをおねがいします」(診療所,50代,内科)
- ・「公務員なので今までも個人的な接待はなかったが、研究会等での支援はしてもらいたい。」(病院(国公立),50代,放射線科)
- ・「いろいろな抜け道があるでしょう。今までも禁止のはずの国立大学の教授も公的病院の先生もいろいろな方法で接待は受けているようですね。」(診療所,50代,内科)
- ・「多くの情報がネット経由で得ることができる時代になっています。MRからは、これらのメディアでは得られない情報が提供してもらいたいと考えています。」(診療所,60代以上,内科)
- ・「接待される立場でないので特に変わらない。新しい情報、知識の提供、講演会、研究会開催の主催、協力を望む。」(病院(国公立以外),60代以上,整形外科)
- ・「短時間の面会では、MRの人間性は判りづらい。宣伝を一方向的に言うだけのMRとは会いたくない。投薬にしがらみがなくなるので、ジェネリックの使用率が増えて、医療費削減の効果は出るので、いいことだと思います。」(診療所,50代,泌尿器科)
- ・「良い薬を使う。接待の有無に関係ない。使い物にならない(むしろ邪魔な)MRが増えた。薬剤情報収集はネットで事足りる。」(病院(国公立以外),50代,泌尿器科)

- ・「もう MR は不要になってきている。ネットからの情報が多く、ネット会員にして論文購読などの提供に切り替えてもよい。薬品会社の接待費が、この協定のため、研究会がやたらに多く開催され、製薬会社支店の実績に使用されている。病院の医師は研究会参加、発表、講演により、より疲弊する。参加者の少ない研究会がどんどん増えている。」(病院(国公立),50代,消化器科)
- ・「過剰な接待を要求する医師側にも問題あり。開業医の場合、医師本人に夫人子供も一緒にした丸抱えという接待を見聞きした事がある。新米開業医の私には家族丸抱えの接待は経験ないが、譜代の開業医は接待慣れしており、当然のごとく家族接待を繰り返していた。接待は人間関係構築する際の必要悪だと思うが、医療スタッフに限定するのは大人の常識だと考える。今後MR側から会議運営費の総額を医師側に伝えておくと過剰な接待費用を回避できるかもしれないと思う。」(診療所,40代,呼吸器科)
- ・「日本社会の実情からして、接待は形を変えて、復活するでしょうが、MRさんからの情報で救われた患者さんも多い。MRさんも、共に高級料理を食べることだけではなく、自身を磨かなければいけないと考える。」(診療所,50代,皮膚科)
- ・「接待や粗品にお金を使うぐらいなら開発費や薬価を下げる努力をして欲しい。MRさんには担当している薬のエビデンスなどの実臨床に繋がる情報提供を期待します。」(病院(国公立),30代,腎臓内科)
- ・「MRにも深い知識を持っていただきたい。」(病院(国公立以外),50代,リウマチ科)
- ・「とにかく今のMRは訪問もしないし、来院しても知識が浅くて、なにを質問しても、得られることが以前よりずっと少なくなった。メーカーはどういう人間を育てているのか?」(その他,50代,小児科)
- ・「接待一切必要なし。第一忙しくて行けないではないか。昨夜もあったが、病棟患者を持たず、救急からも呼ばれることのないエライ人しか行けない。大変良いことだと思っている。」(病院(国公立以外),50代,呼吸器科)
- ・「規制は不要。各社が自由に競争すればいい。中途半端に規制をかけても『抜け道』は必ずできる。事実、そういう準備をしているのを製薬会社から聞いている。」(病院(国公立以外),30代,精神・神経科)
- ・「公務員なので、もともと接待とは無縁です。MRに期待することは、医師の質問にその場で適切に答えられる知識を持っていることです。」(病院(国公立),50代,産婦人科)
- ・「地域の先生と直接に意見を交わせる場でもあったので残念です」(病院(国公立以外),50代,内科)
- ・「臨床に直結する学術知識で面会するMRが増加すると思うので良いことでしょう」(病院(国公立以外),40代,形成外科)
- ・「知識と情報以外何も求めない。接待や宣伝費などの出費を省いて薬価を下げて欲しい。私は薬の選択の際に価格を非常に重視しているので。」(病院(国公立以外),40代,精神・神経科)
- ・「やっと今頃になって規制ができたかというのが本音です。学生時代、某病院で料亭での簡単な薬の説明の後に看護師まで呼んでカラオケに行き、すべて製薬会社負担という信じられない接待がありました。深夜まで付き合わされるMRさんも気の毒でした。夜の薬の説明会の時のお弁当などは非常に助かりますが(昼抜きのことも多いので)、高価である必要はありません。これからはMRさん本来の仕事に専念して頂ければいいと思います。」(病院(国公立以外),30代,小児科)
- ・「MRは各人によって学術知識に非常に差がある。広く深い学術知識を持ったMRが増えることを望む。接待については特に必要と思わないが、MRとの情報交換の場は必要である。その際に接待という形式でなく、半分ずつ折半して飲食をおこなうのは問題ないと思う。」(診療所,50代,内科)
- ・「接待は本質的には不用だが、MRとの接触は定期的に新しい医療・医学の知識の供給源として貴重な機会になっています。」(病院(国公立以外),60代以上,内科)
- ・「接待に関しては健全化すると思うが、関係は希薄化すると思います。」(病院(国公立以外),50代,外科)
- ・「正確な知識を持って面会に来られるMRの少なさに嘆いていたので、特にこれ以上求めるつもりはない。」(病院(国公立以外),40代,精神・神経科)
- ・「接待ありきで、薬剤を選択する事は、基本的にはないが、その薬剤特有の隠れた特徴・一般的ではない効果などの、特殊な情報収集には、限られた短時間の面会では得られない事もあり、通常勤務時間外の面会もあって差し支えないことだと思います。その際の常識範囲内の接待はあっても差し支えないことだと思います。」(病院(国公立以外),50代,循環器科)
- ・「日本の商習慣も変わっていく。MRという職種自体がなくなるかも知れない。」(病院(国公立以外),50代,脳神経外科)
- ・「接待はあってもいいと思うが、なくなったからと言って医師側が困ることはない。むしろ情に流されることなくやれるので楽だが、やりにくくなるのはMR側であろう。MRの存在は不要となるのではないか。」(診療所,40代,内科)
- ・「MRという職業を、その製品のプロの学術説明者として尊重し、雑用、接待などのために利用しないように医師が態度を改めることが必要な時代であり、この度に改正はゆるいが、この方向に沿うものとして歓迎する」(病院(国公立),60代以上,外科)
- ・「薬局への接待が増えるようですが、査定も含め薬局優遇は本末転倒。本当に必要な情報はMRから得られない。そういう場合はいつもMRは持ち帰って、学術、本社に聞いてから情報をもってくる。MRは単なる宣伝営業職だと思う。」(診療所,50代,皮膚科)
- ・「これまでも製品の情報提供のための勉強会の時に1000円以下くらいのお弁当を提供されることが時々あったくらいです。いまだに何万円もの接待が行われることがあるということに驚いております。このような接待は今から20年位前に撲滅されたと思っておりました。今回の見直しに、未だに何をやっていただんのだの思いです。」(診療所,50代,整形外科)
- ・「病院として面会規制を強化する方向ですのでMRさんには厳しい時代になると思います。」(病院(国公立以外),30代,内科)

- ・「どんなに接待されても、MRに知識がなければ、その製薬会社の薬の処方を増やすことはない」(病院(国公立以外),30代,精神・神経科)
- ・「接待を中止するのは構わないが、薬を強引に勧めるのは、そろそろ止めて欲しい。本当に実力のある薬は、黙っていても売れるので 実力のみで、ガチンコ勝負して欲しい。」(その他,60代以上,内科)
- ・「従来の(旧態依然とした)接待は、不要と考える。医師歴20年以上で、接待の変遷も聞いたり見たり経験したりしてきたが、殆ど不要と考える。情報提供は基本はIT化と必要時のアポイント下での学術的インタビューで十分でしょう。」(病院(国公立以外),40代,内科)
- ・「今回の見直しは残念に思うが、世界的な流れであればいたしかたないこととも思います。MRさんの面会に関しては、曜日・時間を決めて行すべき。毎日訪問されても、仕事で多忙のため対応できない。これまでの接待は、処方云々というよりも、MRさんとの関係を作る上で、一定の効果があつたように思います。それがなくなるのはやはり残念です。」(病院(国公立),40代,精神・神経科)
- ・「接待より研究会後の情報交換会が多かったが、今後は同様の会が増えると思う。」(病院(国公立以外),60代以上,内科)
- ・「製薬会社サイドだけではなく 医療従事者側のモラルにも問題があると思う。過剰接待は医療者も辞退するような良識が欲しい。また懇親の場がほかの医師の悪口になったり、MRが他院のドクターの近況を情報提供して見苦しい場合がある。」(病院(国公立以外),40代,内科)
- ・「接待の中で知りたい情報が聞けたりしていたのでそれがなくなるのは残念。押し付けがましいMRは訪問を遠慮したい。」(病院(国公立以外),30代,整形外科)
- ・「今回の見直しは、よいことだと思います。接待ではなく、医薬品に関する正しい情報や文献等を提供していただき、それを元に適切な医療行為をできる関係性が大切でしょう。ただ、多忙な診療業務の間に作れる時間は限られているので、短い時間で端的にプレゼンテーションできる能力をMRさんは要求されるかも知れません。」(病院(国公立以外),30代,代謝・内分泌科)
- ・「はつきりいってまだこんなことをしていたのかといった感じ。このような前近代的な習慣はやめたい。もっと医学に進歩に医師が追いついていけるような情報提供を望みたい。決められた場所、時間内で必要な情報提供を望む。」(病院(国公立以外),50代,内科)
- ・「接待しろとは言いませんが、日本の現状のMRでは情報のためにだけ会うのは時間の無駄です。もう少し勉強してくれという感じがす。そんな状況で営業の部分だけ減らしても勘違いでしょう。」(病院(国公立以外),50代,循環器科)
- ・「接待は別に不要と思いますが、それ以外の研究サポートは欲しいですね。」(病院(国公立以外),40代,消化器科)
- ・「一方的な綺麗ごとに変えての押し付けは不快。接待やめて浮いた経費の使い道を公表し、今回の決定が良かったことのエビデンスを示すべき。情報提供であつて自社製品のコマーシャルは控えるべきでしょうね。」(診療所,50代,精神・神経科)
- ・「院内の面談では時間に限りがあるので 院外での会議や食事はある程度 必要だと思う。」(病院(国公立以外),30代,腎臓内科)
- ・「これまで接待を受けたことはない。製薬各社主催の「情報交換会」という名の食事会にも出席していない。これからも接待に応ずることはない。」(診療所,60代以上,小児科)
- ・「今までのいわゆる接待という場で得られる情報、得られる知識と言うのは膨大であり、その場を失うということは多くの医師にとって医療レベルの低下を招くと考えられる。」(病院(国公立以外),30代,循環器科)
- ・「公立病院に勤めているので、今まで全く接待を受けていませんでした。4月から何も変わりません。しかしジェネリックの企業は接待どころか、情報提供もしてきません。そちらの方が大きな問題なのではないですか？先発品企業ばかりを叩き、ジェネリックの企業は野放しなのは、おかしいと思います。」(病院(国公立),40代,呼吸器科)
- ・「MRは開業医の重要な情報源なのに、色々な規制を行うことで、情報提供が受けにくくなるのではと心配だ。MRを通じて、治療への啓蒙活動などにも参加させてもらっているのに、大変残念なこと。個人病院では、MRとの個人的な付き合いから、色々な情報を得たり、資料を得たりしているのに、こういう規制ができることははなはだ迷惑。公立や法人病医院の医師についての規制はまだまだ、個人病医院に対する規制はやりすぎである。」(診療所,40代,産婦人科)
- ・「接待交際費が浮いた分は薬剤の価格を下げる事に回してもらわないとおかしいと思うが、おそらくそうはされないと思う。」(病院(国公立以外),40代,整形外科)